

取 扱 注 意		
解禁	テレビ・ラジオ・通信社・インターネット	8月5日(木) 17時
	新聞	8月6日(金) 朝刊

神奈川県と同日発表

平成21年度 児童・生徒指導上の諸問題

「暴力行為」・「いじめ」の状況調査がまとまりました。

(文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」関連)

平成21年度の市立小・中・高等学校における「暴力行為」・「いじめ」の調査結果は次の通りです。

1 横浜市の暴力行為の発生状況【概要】

■ 暴力行為の発生件数は、小学校で増加傾向が顕著です。

■ 小学校での暴力行為は、発生件数で前年度比24.0%増です。

- ・ 小学校では、対人暴力を除くすべての暴力行為で、発生件数の顕著な増加(19.8~28.3%増)が認められます。
- ・ 学校内で暴力行為が発生した小学校数は前年度比32.3%増(96校→127校)と、暴力行為の発生を報告する小学校数の増加が顕著です。

■ 中学校での暴力行為発生件数は前年度比2.5%減とわずかに減少しています。

- ・ 中学校での暴力行為で、「対教師暴力」(8.9%増)と「生徒間暴力」(7.9%増)は明らかに増加しています。
- ・ 中学校での暴力行為で、「器物損壊」の発生件数は大きく減少しています。(前年度比15.2%減)

※ 平成20年度、器物損壊が多発した複数の中学校で、「児童生徒の器物損壊にかかる費用弁済会計処理システム」の活用や関係機関との連携など、生徒に社会的な責任の自覚を促す指導が積極的に行われた。

◎「児童生徒の器物損壊にかかる費用弁済会計処理システム」の運用実績

	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
小学校	32件	25件	20件	25件	30件
中学校	50件	78件	64件	102件	129件

■ 暴力行為が多発する学校では、特定の児童生徒が暴力行為を繰り返す傾向が顕著です。

- ・ 一件あたりの加害児童生徒数(加害実人数)は、小学校全体で0.75人、中学校全体で0.67人と暴力行為の個別化・個人化の傾向が認められます。15件以上の暴力行為が報告されている小学校では0.40人、30件以上の暴力行為が報告されている中学校では0.50人とさらに少なく、特定の児童生徒の暴力行為に歯止めがかけられない状況がうかがえます。

■ 暴力行為の傾向として、

- ① 感情にまかせて執拗に暴力をふるうなど、自分自身に抑制が掛けられず暴力行為に至る例が見られます。
- ② 些細なことから、自尊心が傷つけられたと感じ、攻撃的になり暴力行為に発展する例が見られます。(教職員に注意されたことから憤慨して、対教師暴力に至るなど)
- ③ 特定の児童生徒が暴力を繰り返す学校で、暴力行為が多発する傾向が見られます。

(1) 全暴力行為の発生件数(4形態の暴力行為)

■ 小学校で693件(24%増)、中学校で2,755件(2.5%減)、全体で64件、1.9%の増加です。

	H18	H19	H20	H21	増減件数	増減率
小学校	376	398	559	693	134	24.0%
中学校	2,166	2,464	2,826	2,755	-71	-2.5%
高校	10	3	12	13	1	8.3%
計	2,552	2,865	3,397	3,461	64	1.9%

(2) 対教師暴力の発生件数

■ 小学校で103件(19.8%増)、中学校で393件(8.9%増)と増加しました。

	H18	H19	H20	H21	増減件数	増減率
小学校	151	62	86	103	17	19.8%
中学校	264	313	361	393	32	8.9%
高校	0	0	2	0	-2	-100.0%
計	415	375	449	496	47	10.5%

(3) 生徒間暴力の発生件数

■ 小学校で363件(28.3%増)、中学校で1,439件(7.9%増)と増加しました。

	H18	H19	H20	H21	増減件数	増減率
小学校	116	189	283	363	80	28.3%
中学校	1,104	1,232	1,334	1,439	105	7.9%
高校	7	3	2	1	-1	-50.0%
計	1,227	1,424	1,619	1,803	184	11.4%

(4) 対人暴力の発生件数

■ 小学校で8件（57.9%減）、中学校で16件（73.8%減）と減少しました。

	H18	H19	H20	H21	増減件数	増減率
小学校	6	2	19	8	-11	-57.9%
中学校	37	36	61	16	-45	-73.8%
高校	0	0	1	0	-1	-100.0%
計	43	38	81	24	-57	-70.4%

(5) 器物損壊の発生件数

■ 小学校で219件（28.1%増）、中学校で907件（15.2%減）と小学校で増加、中学校では減少しました。

	H18	H19	H20	H21	増減件数	増減率
小学校	103	145	171	219	48	28.1%
中学校	761	883	1,070	907	-163	-15.2%
高校	3	0	7	12	5	71.4%
計	867	1,028	1,248	1,138	-110	-8.8%

▲ 「暴力行為」の調査にかかる文部科学省の定義等

「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力（目に見える物理的な力）を加える行為」をいい、

被暴力行為の対象によって、次の4形態に分類し調査しています。ただし、家族・同居人に対する暴力行為は調査対象外とします。

- ① 「対教師暴力」（教師に限らず、用務員等の学校職員も含む）の例
 - ・ 教師の胸ぐらをつかんだ。
 - ・ 養護教諭めがけて椅子を投げつけた。
 - ・ 定期的に来校する教育相談員を殴った。
- ② 「生徒間暴力」（何らかの人間関係がある児童生徒同士の暴力行為）の例
 - ・ 同じ学校の生徒同士がけんかとなり、双方が相手を殴った。
 - ・ 高等学校在籍の生徒2名が、中学校時代の後輩で、中学校在籍の生徒に対して暴行を加えた。
 - ・ 双方が顔見知りで別々の学校に在籍する生徒同士が口論となり、怪我には至らなかったが身体を突き飛ばした。
- ③ 「対人暴力」（対教師暴力、生徒間暴力を除く）の例
 - ・ 偶然通りかかった他校の見知らぬ生徒と口論になり、暴行を加えた。
 - ・ 金品を奪うことを計画し、金品を奪う際、通行人に怪我を負わせた。
 - ・ 学校行事に来賓として招かれた地域住民を足蹴りにした。
- ④ 「器物損壊」（学校の施設・設備等の損壊）の例
 - ・ トイレのドアを故意に壊した。
 - ・ 補修を要する落書きをした。
 - ・ 学校で飼育している動物を故意に傷つけた。
 - ・ 学校備品（カーテン、清掃道具等）を故意に壊した。

2 横浜市のいじめの認知状況【概要】

■ いじめの認知件数は、1,169件で、平成20年度に比べて218件増えました。

本市のいじめは、平成6年度の2,032件（発生件数）を記録し、その後次第に減少しました。平成18年度は、いじめ定義の変更等に伴い大幅に増加しましたが、平成19年度、平成20年度と続けて減少していました。

(1) いじめの認知件数

■ 小学校で112件、中学校で107件、認知件数が増加しました。

	H18	H19	H20	H21	増減件数	増減率
小学校	627	442	399	511	112	28.1%
中学校	716	555	549	656	107	19.5%
高校	14	5	3	2	-1	-33.3%
計	1,357	1,002	951	1,169	218	22.9%

(2) いじめの年度内解消率

■ いじめの年度内解消率は、89.4%です。 [内訳：小学校 88.9% 中学校：89.9% 高校：50.0%]

※ 解消率＝いじめの年度内解消件数÷いじめの発生件数×100

※ いじめの年度内解消件数には、一定の解消が図られたが、継続支援中の件数も含まれます。

(3) いじめの態様

■ 「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」と「軽くぶつかる、遊ぶふりをして叩く、蹴る」の件数及び構成比率が高まっています。比較的軽微な悪口や嫌がらせも「いじめ」としての認知が進んでいることがうかがえます。

また、「ネット上のいじめ」といわれる「パソコンや携帯電話などの誹謗中傷等」については、大きく件数を減少させています。フィルタリングの普及や情報モラル教育の推進が、効果を上げている可能性もありますが、潜在化している可能性もあり、引き続き注意が必要です。

※ 《参考『「ケータイ・ネット」から子どもを守る提言』<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/sidou1/jidoseito/keitainet.html>》

態様の項目	H20		H21		増減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	587	40.3%	746	45.0%	159	4.7ポイント
仲間はずれ、集団による無視	288	19.8%	273	16.5%	-15	-3.3ポイント
軽くぶつかる、遊ぶふりをして叩く、蹴る	200	13.7%	261	15.7%	61	2.0ポイント
ひどくぶつかる、叩く、蹴る	69	4.7%	77	4.6%	8	-0.1ポイント
金品をたかられる	25	1.7%	35	2.1%	10	0.4ポイント
金品を隠す、盗む、壊す、捨てる	92	6.3%	85	5.1%	-7	-1.2ポイント
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされる、させられる	78	5.3%	82	4.9%	4	-0.4ポイント
パソコンや携帯電話などの誹謗中傷等	96	6.6%	77	4.6%	-19	-1.9ポイント
その他	23	1.6%	23	1.4%	0	-0.2ポイント
件数合計[複数回答]	1,458	-	1,659	-	201	-

(4) いじめの発見のきっかけ

■ 学級担任と養護教諭による発見、本人からの訴えによる発見が増えています。いじめの認知件数の増加は、いじめの解消率が高いことから、多くのいじめが認知され、多くのいじめが解消されていると考えることができます。

	H20		H21		構成比差	
	件数	構成比	件数	構成比		
学校の教職員等が発見	352	-	450	-	-	
内訳	学級担任が発見	245	69.6%	328	72.9%	3.3ポイント
	学級担任以外の教職員が発見	79	22.4%	92	20.4%	-2.0ポイント
	養護教諭が発見	12	3.4%	18	4.0%	0.6ポイント
	スクールカウンセラー等外部相談員が発見	4	1.1%	3	0.7%	-0.5ポイント
	アンケート調査など学校の取組により発見	12	3.4%	9	2.0%	-1.4ポイント
学校の教職員以外からの情報により発見	599	-	719	-	-	
内訳	本人からの訴え	239	39.9%	294	40.9%	1.1ポイント
	当該児童生徒の保護者からの訴え	229	38.2%	266	37.0%	-1.0ポイント
	他の児童生徒からの情報	68	11.4%	78	10.8%	-0.5ポイント
	他の保護者からの情報	56	9.3%	72	10.0%	0.7ポイント
	地域の住民からの情報	6	1.0%	4	0.6%	-0.4ポイント
	学校以外の関係機関からの情報	0	0.0%	4	0.6%	0.6ポイント
	その他(匿名による情報など)	1	0.2%	1	0.1%	0.0ポイント
計	951	-	1,169	-	-	

▲ 「いじめ」の調査基準

文部科学省は、平成18年度に関する調査からは、いじめられた児童生徒の立場に立って、より実態に即して把握できるよう次の様に「いじめの定義」を見直し、調査を実施しました。

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

(注1) 「いじめられた児童生徒の立場に立って」とは、いじめられたとする児童生徒の気持ちを重視することである。

(注2) 「一定の人間関係のある者」とは、学校の内外を問わず、例えば、同じ学校・学級や部活動の者、当該児童生徒が関わっている仲間や集団（グループ）など、当該児童生徒と何らかの人間関係のある者を指す。

(注3) 「攻撃」とは、「仲間はずれ」や「集団による無視」など直接的にかかわるものではないが、心理的な圧迫などで相手に苦痛を与えるものも含む。

(注4) 「物理的な攻撃」とは、身体的な攻撃のほか、金品をたかられたり、隠されたりすることなどを意味する。

市立小・中・高等学校の暴力行為の発生状況

資料 1

形態	校種	年度	市立 学校数	学校内				学校外				内外計	
				発生 学校数	割合(%)	発生件数	増減率(%)	発生 学校数	割合(%)	発生件数	増減率(%)	発生件数	増減率(%)
対教師暴力	小学校	17	354	13	3.7%	125	155.1%	0	0.0%	0	-100.0%	125	145.1%
		18	349	28	8.0%	150	20.0%	1	0.3%	1	-	151	20.8%
		19	347	23	6.6%	62	-58.7%	0	0.0%	0	-100.0%	62	-58.9%
		20	346	36	10.4%	85	37.1%	1	0.3%	1	-	86	38.7%
		21	346	52	15.0%	103	21.2%	0	0.0%	0	-100.0%	103	19.8%
	中学校	17	146	77	52.7%	276	35.3%	3	2.1%	3	50.0%	279	35.4%
		18	146	62	42.5%	255	-7.6%	2	1.4%	9	200.0%	264	-5.4%
		19	145	79	54.5%	304	19.2%	3	2.1%	9	0.0%	313	18.6%
		20	145	88	60.7%	359	18.1%	2	1.4%	2	-77.8%	361	15.3%
		21	145	88	60.7%	388	8.1%	4	2.8%	5	150.0%	393	8.9%
	高等学校	17	11	1	9.1%	2	-50.0%	0	0.0%	0	-	2	-50.0%
		18	9	0	0.0%	0	-100.0%	0	0.0%	0	-	0	-100.0%
		19	9	0	0.0%	0	-	0	0.0%	0	-	0	-
		20	10	2	20.0%	2	-	0	0.0%	0	-	2	-
		21	10	0	0.0%	0	-100.0%	0	0.0%	0	-	0	-100.0%
	計	17	511	91	17.8%	403	56.8%	3	0.6%	3	-25.0%	406	55.6%
		18	504	90	17.9%	405	0.5%	3	0.6%	10	233.3%	415	2.2%
		19	501	102	20.4%	366	-9.6%	3	0.6%	9	-10.0%	375	-9.6%
		20	501	126	25.1%	446	21.9%	3	0.6%	3	-66.7%	449	19.7%
		21	501	140	27.9%	491	10.1%	4	0.8%	5	66.7%	496	10.5%

生徒間暴力	小学校	17	354	26	7.3%	143	-1.4%	2	0.6%	3	0.0%	146	-1.4%
		18	349	34	9.7%	106	-25.9%	8	2.3%	10	233.3%	116	-20.5%
		19	347	52	15.0%	175	65.1%	10	2.9%	14	40.0%	189	62.9%
		20	346	58	16.8%	273	56.0%	8	2.3%	10	-28.6%	283	49.7%
		21	346	86	24.9%	332	21.6%	22	6.4%	31	210.0%	363	28.3%
	中学校	17	146	123	84.2%	1,078	27.3%	65	44.5%	129	5.7%	1,207	24.6%
		18	146	124	84.9%	949	-12.0%	74	50.7%	155	20.2%	1,104	-8.5%
		19	145	133	91.7%	1,079	13.7%	69	47.6%	153	-1.3%	1,232	11.6%
		20	145	133	91.7%	1,130	4.7%	71	49.0%	204	33.3%	1,334	8.3%
		21	145	131	90.3%	1,233	9.1%	72	49.7%	206	1.0%	1,439	7.9%
	高等学校	17	11	4	36.4%	13	85.7%	0	0.0%	0	-100.0%	13	44.4%
		18	9	3	33.3%	7	-46.2%	0	0.0%	0	-	7	-46.2%
		19	9	1	11.1%	2	-71.4%	2	22.2%	1	-	3	-57.1%
		20	10	1	10.0%	2	0.0%	0	0.0%	0	-100.0%	2	-33.3%
		21	10	1	10.0%	1	-50.0%	0	0.0%	0	-	1	-50.0%
	計	17	511	153	29.9%	1,234	23.5%	67	13.1%	132	3.9%	1,366	21.3%
		18	504	161	31.9%	1,062	-13.9%	82	16.3%	165	25.0%	1,227	-10.2%
		19	501	186	37.1%	1,256	18.3%	81	16.2%	168	1.8%	1,424	16.1%
		20	501	192	38.3%	1,405	11.9%	79	15.8%	214	27.4%	1,619	13.7%
		21	501	218	43.5%	1,566	11.5%	94	18.8%	237	10.7%	1,803	11.4%

対人暴力	小学校	17	354	0	0.0%	0	-100.0%	3	0.8%	3	-	3	200.0%
		18	349	2	0.6%	4	-	2	0.6%	2	-33.3%	6	100.0%
		19	347	1	0.3%	1	-75.0%	1	0.3%	1	-50.0%	2	-66.7%
		20	346	3	0.9%	15	1400.0%	4	1.2%	4	300.0%	19	850.0%
		21	346	1	0.3%	1	-93.3%	5	1.4%	8	100.0%	9	-52.6%
	中学校	17	146	3	2.1%	4	-	23	15.8%	36	33.3%	40	48.1%
		18	146	2	1.4%	2	-50.0%	20	13.7%	35	-2.8%	37	-7.5%
		19	145	9	6.2%	15	650.0%	13	9.0%	21	-40.0%	36	-2.7%
		20	145	4	2.8%	15	0.0%	28	19.3%	46	119.0%	61	69.4%
		21	145	4	2.8%	5	-66.7%	11	7.6%	11	-76.1%	16	-73.8%
	高等学校	17	11	1	9.1%	1	-	1	9.1%	1	0.0%	2	100.0%
		18	9	0	0.0%	0	-100.0%	0	0.0%	0	-100.0%	0	-100.0%
		19	9	0	0.0%	0	-	0	0.0%	0	-	0	-
		20	10	1	10.0%	1	-	0	0.0%	0	-	1	-
		21	10	0	0.0%	0	-100.0%	0	0.0%	0	-	0	-100.0%
	計	17	511	4	0.8%	5	400.0%	27	5.3%	40	42.9%	45	55.2%
		18	504	4	0.8%	6	20.0%	22	4.4%	37	-7.5%	43	-4.4%
		19	501	10	2.0%	16	166.7%	14	2.8%	22	-40.5%	38	-11.6%
		20	501	8	1.6%	31	93.8%	32	6.4%	50	127.3%	81	113.2%
		21	501	5	1.0%	6	-80.6%	16	3.2%	19	-62.0%	25	-69.1%

形態	校種	年度	市立 学校数	学校内				学校外				内外計	
				発生 学校数	割合(%)	発生件数	増減率(%)	発生 学校数	割合(%)	発生件数	増減率(%)	発生件数	増減率(%)
器物損壊	小学校	17	354	27	7.6%	101	124.4%	-	-	-	-	101	124.4%
		18	349	40	11.5%	103	2.0%	-	-	-	-	103	2.0%
		19	347	44	12.7%	145	40.8%	-	-	-	-	145	40.8%
		20	346	64	18.5%	171	17.9%	-	-	-	-	171	17.9%
		21	346	65	18.8%	219	28.1%	-	-	-	-	219	28.1%
	中学校	17	146	97	66.4%	649	-1.5%	-	-	-	-	649	-1.5%
		18	146	103	70.5%	761	17.3%	-	-	-	-	761	17.3%
		19	145	118	81.4%	883	16.0%	-	-	-	-	883	16.0%
		20	145	126	86.9%	1,070	21.2%	-	-	-	-	1,070	21.2%
		21	145	121	83.4%	907	-15.2%	-	-	-	-	907	-15.2%
	高等学校	17	11	2	18.2%	11	175.0%	-	-	-	-	11	175.0%
		18	9	2	22.2%	3	-72.7%	-	-	-	-	3	-72.7%
		19	9	0	0.0%	0	-100.0%	-	-	-	-	0	-100.0%
		20	10	3	30.0%	7	-	-	-	-	-	7	-
		21	10	3	30.0%	12	71.4%	-	-	-	-	12	71.4%
	計	17	511	126	24.7%	761	7.5%	-	-	-	-	761	7.5%
		18	504	145	28.8%	867	13.9%	-	-	-	-	867	13.9%
		19	501	162	32.3%	1,028	18.6%	-	-	-	-	1,028	18.6%
		20	501	193	38.5%	1,248	21.4%	-	-	-	-	1,248	21.4%
		21	501	189	37.7%	1,138	-8.8%	-	-	-	-	1,138	-8.8%

暴力行為全体	小学校	17	354	47	13.3%	369	53.8%	5	1.4%	6	20.0%	375	53.1%
		18	349	69	19.8%	363	-1.6%	10	2.9%	13	116.7%	376	0.3%
		19	347	81	23.3%	383	5.5%	10	2.9%	15	15.4%	398	5.9%
		20	346	96	27.7%	544	42.0%	11	3.2%	15	0.0%	559	40.5%
		21	346	127	36.7%	655	20.4%	25	7.2%	38	153.3%	693	24.0%
	中学校	17	146	131	89.7%	2,007	17.4%	78	53.4%	168	11.3%	2,175	16.9%
		18	146	134	91.8%	1,967	-2.0%	84	57.5%	199	18.5%	2,166	-0.4%
		19	145	140	96.6%	2,281	16.0%	75	51.7%	183	-8.0%	2,464	13.8%
		20	145	142	97.9%	2,574	12.8%	81	55.9%	252	37.7%	2,826	14.7%
		21	145	135	93.1%	2,533	-1.6%	74	51.0%	222	-11.9%	2,755	-2.5%
	高等学校	17	11	4	36.4%	27	80.0%	1	9.1%	1	-66.7%	28	55.6%
		18	9	5	55.6%	10	-63.0%	0	0.0%	0	-100.0%	10	-64.3%
		19	9	1	11.1%	2	-80.0%	2	22.2%	1	-	3	-70.0%
		20	10	4	40.0%	12	500.0%	0	0.0%	0	-100.0%	12	300.0%
		21	10	3	30.0%	13	8.3%	0	0.0%	0	-	13	8.3%
	計	17	511	182	35.6%	2,403	22.3%	84	16.4%	175	10.1%	2,578	21.4%
		18	504	208	41.3%	2,340	-2.6%	94	18.7%	212	21.1%	2,552	-1.0%
		19	501	222	44.3%	2,666	13.9%	87	17.4%	199	-6.1%	2,865	12.3%
		20	501	242	48.3%	3,130	17.4%	92	18.4%	267	34.2%	3,397	18.6%
		21	501	265	52.9%	3,201	2.3%	99	19.8%	260	-2.6%	3,461	1.9%

市立小・中・高等学校の「いじめ」認知（発生）状況（平成17年度までは発生状況、平成18年度以降は認知状況）

資料 2

校種	年度	市立学校数 A	認知(発生)学校数 B	認知(発生)率 B/A	認知(発生)件数 C	認知(発生)件数増減率	1校当たりの認知(発生)件数 C/A
小学校	17	354	80	22.6%	230	78.3%	0.6
	18	349	184	52.7%	627	172.6%	1.8
	19	347	147	42.4%	442	-29.5%	1.3
	20	346	138	39.9%	399	-9.7%	1.2
	21	346	164	47.4%	511	28.1%	1.5
中学校	17	146	116	79.5%	560	28.4%	3.8
	18	146	121	82.9%	716	27.9%	4.9
	19	145	125	86.2%	555	-22.5%	3.8
	20	145	128	88.3%	549	-1.1%	3.8
	21	145	128	88.3%	656	19.5%	4.5
高等学校	17	11	3	27.3%	4	33.3%	0.4
	18	9	6	66.7%	14	250.0%	1.6
	19	9	4	44.4%	5	-64.3%	0.6
	20	10	3	30.0%	3	-40.0%	0.3
	21	10	2	20.0%	2	-33.3%	0.2
計	17	511	199	38.9%	794	39.8%	1.6
	18	504	311	61.7%	1,357	70.9%	2.7
	19	501	276	55.1%	1,002	-26.2%	2.0
	20	501	269	53.7%	951	-5.1%	1.9
	21	501	294	58.7%	1,169	22.9%	2.3